

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年9月20日(2022.9.20)

【公開番号】特開2022-40411(P2022-40411A)
 【公開日】令和4年3月10日(2022.3.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-043
 【出願番号】特願2022-8686(P2022-8686)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤に導入部、第1流路部、第2流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された前記遊技盤左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第1流路部又は前記第2流路部のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、

前記第1流路部に振り分けられた遊技球が入球可能な第1入球手段と、

前記第2流路部に振り分けられた遊技球が入球可能であり、前記第1入球手段とは機能が異なる第2入球手段と、

前記第2流路部に振り分けられた遊技球が入球可能であり、前記第1入球手段及び前記第2入球手段とは機能が異なる第3入球手段と、

30

前記第2流路部を流下する遊技球を検知可能な第1の検知手段と、

前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第2の検知手段と、

前記第1の検知手段によって遊技球が検知されることを契機として、前記第2流路部を流下する所定の遊技球が、前記第2入球手段へ入球することは制限されるが、前記第3入球手段へ入球することは許容される第1状態から、前記第2流路部を流下する前記所定の遊技球が、前記第2入球手段へ入球することが許容されて前記第3入球手段への入球が制限される第2状態に可動手段の状態を切り替える状態切替手段と、

前記第1の検知手段によって遊技球の流下が検知されることが遊技者に有利な第1遊技状態と、前記第2の検知手段によって遊技球の流下が検知されることが遊技者に有利な第2遊技状態と、を含む複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる遊技状態移行手段と、

40

を備えることを特徴とする遊技機。